

2014 年度第 2 回
町田市高齢社会総合計画 審議会資料

当 日 配 布 分

第 6 期町田市介護保険事業計画策定
について

2014 年 6 月 26 日

町 田 市

(5) 在宅を支える介護サービスの充実

(6) 自分にあった施設や住まいの選択

1. 町田市内の整備状況

- 定期巡回・随時対応型訪問介護看護…要介護者の在宅生活を支えるため、24時間緊急システムを配置し、訪問介護と訪問看護が連携した切れ目のない支援を行うサービス
- 複合型サービス…小規模多機能型居宅介護と訪問看護など、複数の居宅サービスを組み合わせ、医療ニーズの高い方も在宅での生活ができるよう支援していくサービス

1-1-1 種別ごとの整備状況

(1) 基本情報

総人口	426,294人
高齢者数	103,359人
75歳以上数	46,573人
高齢化率	24.2%
75歳以上率	10.9%

(2) 地域密着型サービス

種別	施設数	定員	整備率
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2施設	—	—
小規模多機能型居宅介護、複合型サービス	5施設	125人	0.12%
認知症高齢者グループホーム	20施設	324人	0.31%
認知症対応型デイサービス	25施設	388人	0.38%

(3) 広域型サービス

種別	施設数	定員	整備率
特別養護老人ホーム	22施設	2,059人	1.99%
介護老人保健施設、介護療養型医療施設	7施設	942人	0.91%
有料老人ホーム等(特定施設入居者生活介護)	40施設	3,354人	3.25%
※サービス付き高齢者向け住宅	6施設	362人	0.35%

出典:総人口・高齢者数・75歳以上数…高齢者福祉課資料(2014年6月5日時点) ◆整備率:定員÷高齢者人口 ◆施設数・定員…高齢者福祉課資料(第5期以前および第5期計画分(開設前のものを含む))

1-1-2 圏域ごとの整備状況

- 定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護、複合型サービスについては、整備されていない圏域がある。
- その他のサービスについては、すべての圏域に整備されている。

(1) 地域密着型サービス

圏域	総人口	高齢者数	高齢化率	定期巡回・随時対応型訪問介護看護			小規模多機能型居宅介護、複合型サービス			認知症高齢者グループホーム			認知症対応型デイサービス		
				施設数	定員	整備率	施設数	定員	整備率	施設数	定員	整備率	施設数	定員	整備率
堺・忠生	125,233	30,208	24.1%							4	72	0.24%	7	134	0.44%
鶴川	91,117	20,751	22.8%	1			2	50	0.24%	7	90	0.43%	5	81	0.39%
町田	94,835	24,127	25.4%				2	50	0.21%	4	72	0.30%	5	72	0.30%
南	115,109	28,273	24.6%	1			1	25	0.09%	5	90	0.32%	8	101	0.36%
合計	426,294人	103,359人	24.2%	2施設			5施設	125人	0.12%	20施設	324人	0.31%	25施設	388人	0.38%

(2) 広域型サービス

圏域	総人口	高齢者数	高齢化率	特別養護老人ホーム			介護老人保健施設、介護療養型医療施設			有料老人ホーム等(特定施設入居者生活介護)			※サービス付き高齢者向け住宅		
				施設数	定員	整備率	施設数	定員	整備率	施設数	定員	整備率	施設数	定員	整備率
堺・忠生	125,233	30,208	24.1%	9	871	2.88%	3	350	1.16%	14	1,089	3.61%	1	50	0.17%
鶴川	91,117	20,751	22.8%	4	420	2.02%	1	120	0.58%	10	1,248	6.01%	3	157	0.76%
町田	94,835	24,127	25.4%	3	220	0.91%	1	100	0.41%	8	452	1.87%	1	60	0.25%
南	115,109	28,273	24.6%	6	548	1.94%	2	372	1.32%	8	565	2.00%	1	95	0.34%
合計	426,294人	103,359人	24.2%	22施設	2,059人	1.99%	7施設	942人	0.91%	40施設	3,354人	3.25%	6施設	362人	0.35%

1-3-高齢者支援センターごとの整備状況

● 高齢者支援センター地区ごとでは、整備の偏りがみられる。

(1) 地域密着型サービス

支援センター	総人口	高齢者数	高齢化率	定期巡回・随時対応型訪問介護看護			小規模多機能型居宅介護、複合型サービス			認知症高齢者グループホーム			認知症対応型デイサービス		
				施設数	定員	整備率	施設数	定員	整備率	施設数	定員	整備率	施設数	定員	整備率
堺第1	15,418	4,113	26.7%							1	18	0.44%			
堺第2	32,980	4,841	14.7%										1	24	0.50%
忠生第1	32,323	7,470	23.1%							2	36	0.48%	5	86	1.15%
忠生第2	44,512	13,784	31.0%							1	18	0.13%	1	24	0.17%
鶴川第1	44,210	9,361	21.2%	1			2	50	0.53%	3	45	0.48%	3	47	0.50%
鶴川第2	46,907	11,390	24.3%							4	45	0.40%	2	34	0.30%
町田第1	42,541	9,377	22.0%				2	50	0.53%	2	36	0.38%	3	48	0.51%
町田第2	21,981	6,717	30.6%							2	36	0.54%			
町田第3	30,313	8,033	26.5%										2	24	0.30%
南第1	43,886	9,745	22.2%				1	25	0.26%	2	36	0.37%	3	32	0.33%
南第2	37,463	9,461	25.3%										2	36	0.38%
南第3	33,760	9,067	26.9%	1						3	54	0.60%	3	33	0.36%
合計	426,294人	103,359人	24.2%	2施設			5施設	125人	0.12%	20施設	324人	0.31%	25施設	388人	0.38%

(2) 広域型サービス

支援センター	総人口	高齢者数	高齢化率	特別養護老人ホーム			介護老人保健施設、介護療養型医療施設			有料老人ホーム等(特定施設入居者生活介護)			※サービス付き高齢者向け住宅		
				施設数	定員	整備率	施設数	定員	整備率	施設数	定員	整備率	施設数	定員	整備率
堺第1	15,418	4,113	26.7%	3	392	9.53%	1	100	2.43%	1	51	1.24%			
堺第2	32,980	4,841	14.7%	2	164	3.39%	1	150	3.10%	5	555	11.46%			
忠生第1	32,323	7,470	23.1%	4	315	4.22%	1	100	1.34%	5	412	5.52%	1	50	0.67%
忠生第2	44,512	13,784	31.0%							3	71	0.52%			
鶴川第1	44,210	9,361	21.2%	3	340	3.63%	1	120	1.28%	5	926	9.89%	2	85	0.91%
鶴川第2	46,907	11,390	24.3%	1	80	0.70%				5	322	2.83%	1	72	0.63%
町田第1	42,541	9,377	22.0%	2	130	1.39%	1	100	1.07%	3	180	1.92%	1	60	0.64%
町田第2	21,981	6,717	30.6%							1	60	0.89%			
町田第3	30,313	8,033	26.5%	1	90	1.12%				4	212	2.64%			
南第1	43,886	9,745	22.2%	2	278	2.85%	2	372	3.82%	6	368	3.78%	1	95	0.97%
南第2	37,463	9,461	25.3%	1	80	0.85%				2	197	2.08%			
南第3	33,760	9,067	26.9%	3	190	2.10%									
合計	426,294人	103,359人	24.2%	22施設	2,059人	1.99%	7施設	942人	0.91%	40施設	3,354人	3.25%	6施設	362人	0.35%

2. 利用状況等

2-1-1 利用状況

(1) 地域密着型サービス

種別	利用状況
小規模多機能型居宅介護	53%(新規開設分を含む)、66%(新規開設分を除く)
認知症高齢者グループホーム	90%(新規開設分を含む)、97%(新規開設分を除く)
認知症対応型デイサービス	59%

出典:介護保険課資料(2014年5月)、高齢者福祉課資料(2014年4月)

(2) 広域型サービス (特別養護老人ホーム以外)

種別	利用状況
介護老人保健施設	市内施設における市民利用率:57%(市民利用者411人÷定員720人)
介護療養型医療施設	市内施設における市民利用率:41%(市民利用者91人÷定員222人)
有料老人ホーム等(特定施設入居者生活介護)	市内施設における利用率78%(利用者数2,226人÷定員2,846人)

出典:東京都国民健康保険団体連合会資料(2014年4月審査分)、高齢者福祉課資料(2014年4月)

(3) 特別養護老人ホーム

①待機期間1年未満の新規市民入所率

年度	6ヶ月未満(①)	6ヶ月～1年未満(②)	⇒	1年未満(①+②)
2011	38.7%	19.8%		58.5%
2012	44.1%	21.9%		66.0%
2013	52.8%	22.4%		75.2%

出典:高齢者福祉課資料(2013年度末)

②待機者数

年度	実人数	要介護3以上	施設入居を除く要介護3以上
2009	1,668人	1,120人	1,032人
2010	1,685人	1,109人	998人
2011	1,569人	1,052人	943人
2012	1,684人	1,115人	1,008人
2013	1,557人	1,037人	915人

出典:高齢者福祉課資料(2013年10月1日時点)

参考_市民の新規入所と退所状況

年度	新規入所者数	退所者数
2011	554人(46人)	328人(27人)
2012	624人(52人)	395人(32人)
2013	493人(41人)	437人(36人)

()内は月平均

出典:高齢者福祉課資料(2013年度末)

- 地域密着型サービスや特別養護老人ホーム以外の広域型サービスについては、利用率が低い傾向にある。
- 特別養護老人ホームについては、待機期間や待機者数の減少がみられる。

特養待機者についての各種調査結果

- すぐに入所したい【17.5%】(町田市市民ニーズ調査)
- すぐにも入所が必要【11%】(厚労省資料)、国が想定する入所基準に合っている【22.5%】(厚労省資料)

参考_市民入所状況(要介護度別)

年度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
2011	44人(3.2%) 181人(13.2%)	137人(10.0%)	283人(20.6%)	466人(33.9%) 1,192人(86.8%)	443人(32.3%)	1,373人
2012	41人(2.6%) 188人(11.7%)	147人(9.2%)	357人(22.3%)	523人(32.7%) 1,413人(88.3%)	533人(33.3%)	1,601人
2013	52人(3.1%) 230人(13.9%)	178人(10.7%)	364人(22.0%)	507人(30.6%) 1,427人(86.1%)	556人(33.6%)	1,657人

出典:高齢者福祉課資料(2013年度末)

2-1-2 介護費用

要介護度別の施設・居宅・密着の費用の割合

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	
施設			27,338,714	77,309,631	138,062,106	200,837,152	281,914,154	725,461,757円	
費用	33,511,810	50,138,027	181,655,059	254,831,869	203,640,928	183,518,638	175,465,766	1,082,762,097円	
(月)	密着	44,678	92,321	13,833,507	29,103,293	43,865,762	34,459,631	28,345,999	149,745,191円
合計	33,556,488円	50,230,348円	222,827,280円	361,244,793円	385,568,796円	418,815,421円	485,725,919円	1,957,969,045円	

出典:介護保険事業状況報告(平成26年1月月報)

参考_要介護度別の一人当たりの費用

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
利用	施設 120人	326人	551人	756人	940人
人数	居宅 2,417人	2,567人	1,443人	1,067人	803人
(月)	密着 121人	201人	262人	200人	159人
費用	施設 227,823円	237,146円	250,566円	265,658円	299,909円
(月)	居宅 75,157円	99,272円	141,123円	171,995円	218,513円
	密着 114,327円	144,793円	167,427円	172,298円	178,277円

出典:介護保険事業状況報告(平成26年1月月報)

- 施設費用については、要介護度が高くなるにつれて、上昇している。
- 要介護度別の一人当たりの費用は、いずれの要介護度においても、施設費用が他より高くなっている。

3. 認知症自立度Ⅱ以上、特別な医療を受けている高齢者数

圏域	認知症自立度Ⅱ以上	特別な医療を受けている
堺・忠生	1,787	221
鶴川	969	119
町田	1,732	250
南	1,349	196

支援センター	認知症自立度Ⅱ以上	特別な医療を受けている
堺第1	263	28
堺第2	196	29
忠生第1	367	34
忠生第2	961	130
鶴川第1	449	51
鶴川第2	520	68
町田第1	690	105
町田第2	571	83
町田第3	471	62
南第1	410	46
南第2	518	81
南第3	421	69

出典：高齢者福祉課資料(2013年11月1日時点)

町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクトにおける

多職種連携研修会(2014年3月15・16日)資料より抜粋

◆高齢者支援センターの管轄が重なるため、重複しカウントされている分を含む

◆認知症自立度対象者：要支援1～要介護5で、かつ認定調査時に居宅(施設利用なし)の方

◆特別な医療対象者：要支援1～要介護5で、認定調査時に特別な医療を受けている方

- 認知症自立度Ⅱ以上と特別な医療を受けている方が、他より多い圏域や高齢者支援センター地区
圏域…堺・忠生、町田
高齢者支援センター地区…忠生第2地区、町田第1地区

4. 市民ニーズ調査・事業所調査の傾向

設問と回答	⇒	傾向
全体		
今後5年以内の住み替えニーズについては、「いいえ」が最も多い【問120】	⇒	自宅での生活や在宅介護の意向が高いが、施設入所の意向も一定程度、存在する。
これからの介護についての望ましい形については、「住み慣れた自宅を中心に様々な介護サービスを利用して生活する」が多いが、「特別養護老人ホームや老人保健施設などの大規模な施設に入所する」も一定程度存在する【問132】		
自分の最期をどこで迎えたいかについては、「自宅」が最も多い【問141】		
どこで得た情報が役立ったかについては、「介護保険事業者・ケアマネジャー・高齢者支援センター等の専門窓口・家族」が多い【問135】	⇒	制度理解の促進が、今後も必要。

地域密着型サービス

小規模多機能や定期巡回随時対応の周知度は低いですが、特養待機者の中にも、一定程度の利用意向がある【問133・134】	⇒	制度理解の促進が、今後も必要。
定期巡回随時対応を市民が利用する上での課題については、「利用者・ケアマネジャー・高齢者支援センターの制度理解」が多い【事業所問11】		
今後、町田市内での参入意向については、「当面、参入する予定はない」が最も多い【事業所問12】	⇒	参入促進の効果的な方策が必要。

特別養護老人ホーム

特養に申し込んだ理由については、「家族の介護継続が困難になった」が最も多いが、「将来の介護に不安を感じた」も多い【特養問69】	⇒	入所の緊急性が、必ずしも高くはないケースも含んでいる。
申し込んだ施設から入所通知が来た場合の対応については、「すぐに入所する」が17.5%【特養問71】		

※人材育成・確保

必要とする職員数を常時確保できているかについては、「ほぼ確保できている」が最も多いが、「確保できていない時がある」も多い【事業所問14】	⇒	町田市介護人材開発センター等を通じての支援が、今後も必要。
町田市介護人材開発センターの周知度については、「知っていて研修に参加したことがある」が最も多く、職員を研修に参加させての成果については、「職員の業務の質向上になった」が最も多い【事業所問19】		

5. 国の動向

社会保障制度改革国民会議	住み慣れた地域で人生最後まで自分らしく暮らせる「地域完結型」の実現
社会保障審議会介護保険部会	在宅サービスの見直しについて、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護、複合型サービスなどを更に普及促進
介護保険法改正(主なもの)	2015年度以降、特別養護老人ホームの入所条件が、原則要介護3以上に重点化

- 在宅介護の推進が示されている。

6. 町田市の方向性

現状		課題	方向性	整備にあたって必要なこと
町田市	✓ 圏域や高齢者支援センター地区間における、整備の偏りがある。	✓ 身近できめ細かい相談体制等の構築が必要。	<地域密着型サービス> ● 身近できめ細かい相談体制等の構築や、在宅での介護・医療の推進、認知症の方への支援が、各地域でより図れるよう、下記のとおり整備 <広域型サービス> ● 介護保険料への影響が大きいことなどから、第6期中の整備数については、今後更に検討	<地域密着型サービス> ● 高齢者支援センターやケアマネジャー、市民への制度周知 ● 特徴（強み）を明確化 ● 事業者に対する事業説明会等の開催 ● 相談機能等、地域の認知症支援の拠点としての役割 ● 医療ニーズが高い方への対応、自宅療養の促進 ● メディカルソーシャルワーカーとの効果的な連携 ● 団地等との効果的な連携 <広域型サービス> ● 真に入所を希望する方の把握 ● 介護給付費および保険料への影響を注視 ● 介護療養型医療施設の廃止および転換先への動向等を注視 <共通> ● 関連する協議会や当事者団体等との連携・支援 ● 介護人材の育成・確保
	✓ 地域密着型サービスは、利用率が低い。	✓ 利用料金やケアマネジャーの変更等、制度的な問題がある。 ✓ サービス自体の認知度が低い。		
	✓ 特養待機者が、いまだに多く存在する。	✓ 真に入所を希望する特養待機者の解消が必要。		
	✓ 自宅での生活や在宅介護の意向が高い。	✓ 自宅での生活や在宅介護が難しくなった際の支援体制が必要。		
国	✓ 地域包括ケアシステムの構築や、特別養護老人ホームの要介護3以上の重点化が示されている。	✓ 要介護1・2の方の受け入れ先の整備、在宅での介護・医療や認知症支援の推進が必要。		

種別	整備数	圏域	第5期末累計	第6期中			第6期末累計
				2015年度	2016年度	2017年度	
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	整備が進んでいない圏域に、1施設ずつ整備	堺・忠生			1施設		1施設
		鶴川		1施設※			1施設
		町田				1施設	1施設
		南	1施設				1施設
		合計	1施設	1施設	1施設	1施設	4施設
小規模多機能型居宅介護、複合型サービス	整備が進んでいない圏域に、1～2施設ずつ整備	堺・忠生			1施設 25人		1施設 25人
		鶴川	2施設 50人				2施設 50人
		町田	2施設 50人				2施設 50人
		南	1施設 25人			1施設 25人	2施設 50人
		合計	5施設 125人		1施設 25人	1施設 25人	7施設 175人
認知症高齢者グループホーム	高齢化率が高く、整備が進んでいない地域に、3施設整備 ■ 堺・忠生圏域⇒忠生第2地区 ■ 町田圏域⇒町田第3地区 ■ 南圏域⇒南第2地区	堺・忠生	4施設 72人		1施設 18人		5施設 90人
		鶴川	7施設 90人				7施設 90人
		町田	4施設 72人		1施設 18人		5施設 90人
		南	5施設 90人			1施設 18人	6施設 108人
		合計	20施設 324人		2施設 36人	1施設 18人	23施設 378人
認知症対応型デイサービス	高齢化率が高く、整備が進んでいない地域に、1施設整備 ■ 町田圏域⇒町田第2地区	堺・忠生	7施設 134人				7施設 134人
		鶴川	5施設 81人				5施設 81人
		町田	5施設 72人	1施設 12人			6施設 84人
		南	8施設 101人				8施設 101人
		合計	25施設 388人	1施設 12人			26施設 400人

※第5期計画分で、第6期中に開設するもの

2014年度第1回地域密着型サービス運営委員会 報告

日 時：2014年6月9日（月） 午後6時30分～午後8時30分

場 所：町田市役所5階 会議室5-3

◎地域密着型サービス運営委員会の概要

- ・委員構成（学識経験者、市民委員、事業所代表、保健医療関係者）
- ・所掌事項：地域密着型サービスの質の確保、運営評価その他市長が地域密着型サービスの適正な運営を確保する観点から必要と認める事項など

1 主な議題内容、報告事項

今後の動向や課題

- (1) 事業所利用状況報告について
- (2) 市民ニーズ調査や事業所調査から見える課題について
- (3) 第6期整備計画案について
 - ① 第5期計画期間の整備状況
 - ② 圏域・地区ごとの整備状況
 - ③ 第6期計画期間の整備計画案

2 議題における主な意見や指摘

議題：今後、地域密着型サービスをどのように周知し、利用につなげるか

意見：以下4点を踏まえ、地域密着型サービスの整備・運営を進めてください。

- (1) サービスの特徴（強み）を明確化
- (2) サービスの制度理解促進
- (3) 関係機関との連携強化
- (4) 医療ニーズへの対応強化